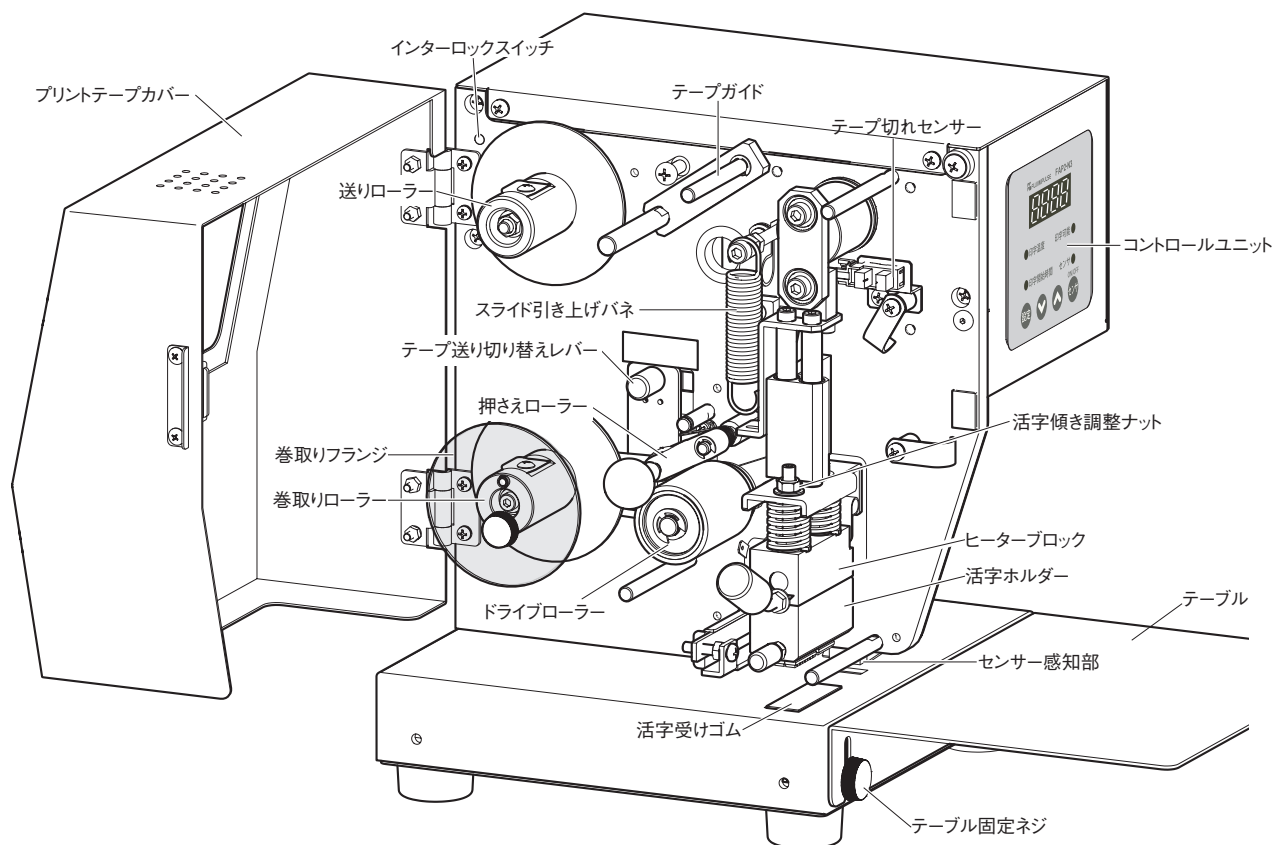
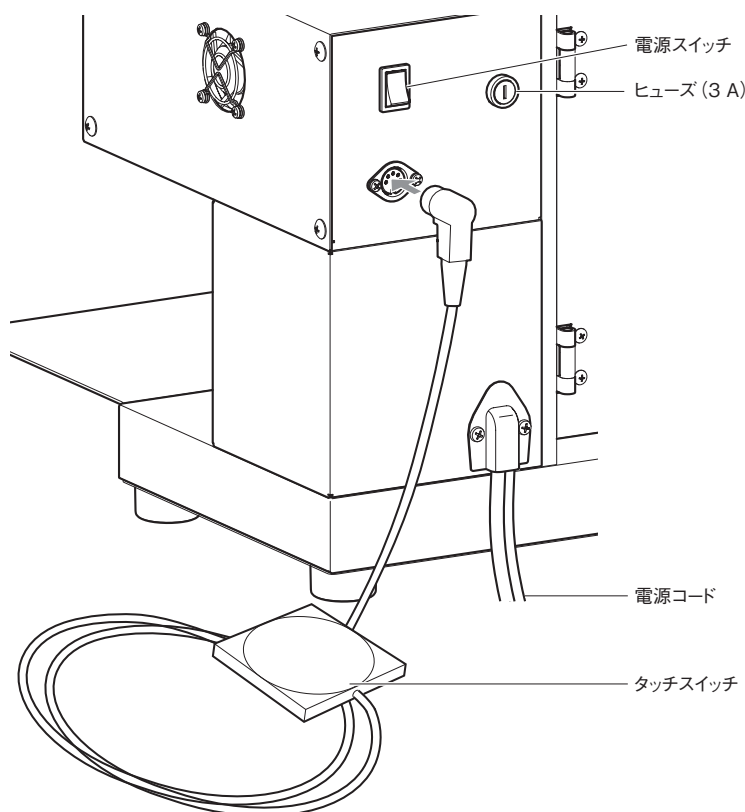


5 各部の名称とはたらき



機械背面



コントロールユニット



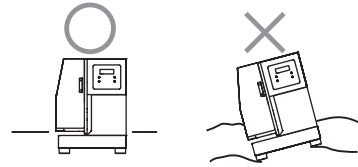
6 正しい使い方

製品を使用されるときは以下の説明をよくお読みいただき、お使いください。

以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

6-1 製品の設置

水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。



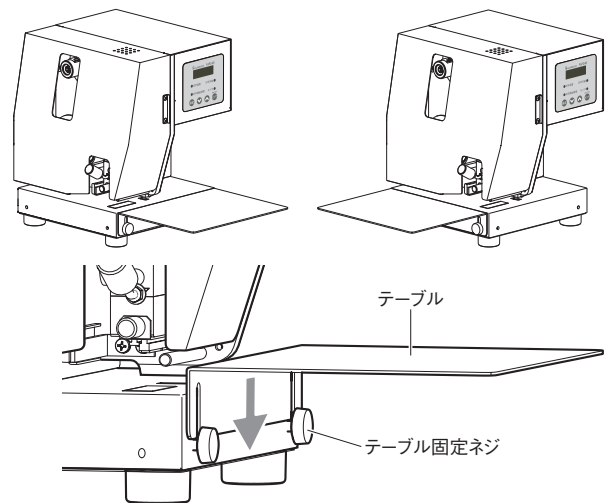
6-2 テーブルの取り付け

テーブルは機械前面部または左側面部に取り付けることができます。

機械前面部のテーブル固定ネジをゆるめて、できた隙間にテーブルを差し込みます。

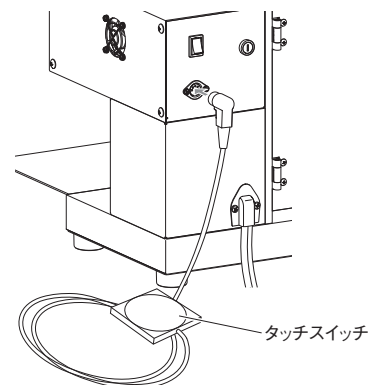
テーブル固定ネジで締め付けてテーブルを固定してください。

左側面部に取り付ける場合は、前面部に取り付けられているテーブル固定ネジを取り外し、左側面部に取り付けてください。



6-3 タッチスイッチの取り付け

タッチスイッチを製品の背面向かって左側にある取付口に確実に差し込んでください。



6-4 プリントテープの取り付け確認

プリントテープカバーを開け、プリントテープが正しく取り付けられているか確認してください。

「8-1 プリントテープの交換」(→ P.20)を参照してください。

6-5 活字のセット

「8-4 活字の交換」(→ P.24)を参照して、活字をセットしてください。



警告 活字のセットは電源スイッチを ON にする前に行ってください。電源スイッチを ON にするとヒーター部分が熱くなりますので、火傷をする危険性があります。

6-6 各部の調整

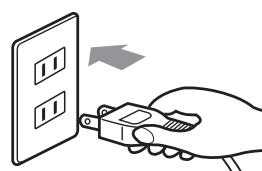
「9 各部の調整方法」(→ P.26)を参照して、テープ送り量、印字濃度を調整してください。

6-7 電源コードの接続

機械背面にある電源コードの差し込みプラグを「11 仕様」(→ P.31)に記載している電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。



警告 規定の容量に合わない場合、火災などが発生する危険性があります。

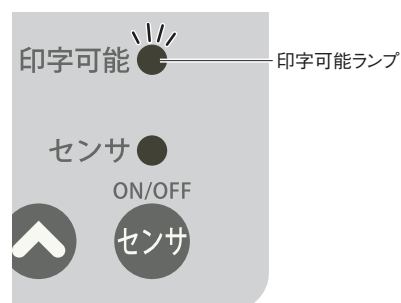


6-8 電源スイッチを ON にして、適温になるまで待つ

機械背面にある電源スイッチを ON 状態にして、ヒーター部が印字可能な状態に温まるまで 10 ～ 15 分お待ちください。印字可能な状態になると、コントロールユニットの「印字可能ランプ」が点滅から点灯になり、お知らせします。



MEMO 一度、電源スイッチが OFF になると、電源スイッチを ON にしたときにヒーター部の温度が印字可能な状態になっていても、「印字可能ランプ」が点滅します。
周囲温度が低い場合、印字可能な状態になるまで 15 分以上かかる場合もあります。



6-9 コントロールユニットで設定



■ 運転モードの選択

● **センサ** ボタンでマニュアルモード、センサーモード、オートモードの選択ができます。

- ・マニュアルモード (センサー機能ランプ: 消灯)
タッチスイッチを押したときに印字します。
- ・センサーモード (センサー機能ランプ: 点灯)
包材をセンサーが感知して印字します。
- ・オートモード (センサー機能ランプ: 点滅)
タッチスイッチを押すと、設定した運転間隔で連続して印字します。

■ 印字条件の設定

印字する包材に合わせて印字条件を設定します。包材を変更された場合はその都度設定を行ってください。

● **設定** ボタンを押すと
カウンター数値→印字温度→印字開始時間の順にディスプレイに設定値が表示され、各設定モードに応じた表示ランプが点灯します。
“印字温度ランプ”、“印字開始時間ランプ”のどちらも点灯していない場合は、カウンター数値を表示しています。

● 印字温度の設定

● **設定** ボタンを押し、“印字温度ランプ”を点灯させ、
● **センサ** ボタンで印字温度を設定します。
温度設定範囲: 1 ~ 10 (10 段階調整)

● 印字開始時間の設定

センサーモード選択時の、センサーが包材を感知してから印字するまでの時間を設定します。

● **設定** ボタンを押し、“印字開始時間ランプ”を点灯させ、
● **センサ** ボタンで印字開始時間を設定します。
設定範囲: 0.0 ~ 1.0 秒 (0.1 秒刻み)

■ オートモードについて

● **センサ** ボタンを 3 秒以上長押しすると、オートモードに切り替わります。ディスプレイに運転間隔が表示され、
● **センサ** ボタンで数値を変更することができます。
設定範囲: 0.1 ~ 5.0 秒 (0.1 秒刻み)

● **設定** ボタンを押すたびにディスプレイ表示がカウンター数値と運転間隔表示に切り替わります。● **センサ** ボタンをもう一度押すと、オートモードを終了します。

■ 印字可能ランプについて

印字可能ランプはヒーターの動作状態を表示します。

- ・点滅: 温度調整中
- ・点灯: 印字可能状態

印字可能ランプが点滅中でも印字動作は可能ですが、活字が設定温度に到達していないため、印字不良となる場合があります。

■ カウンターのリセット

ディスプレイにカウンター数値が表示された状態で ● **センサ** ボタンと ● **設定** ボタンを同時に押すと、数値が「0」にリセットされます。

■ ブザー ON/OFF の切り替え

ディスプレイにカウンター数値が表示された状態で ● **センサ** ボタンを 3 秒以上押すと、ブザーの ON/OFF が切り替わります。

- ・ON → OFF: ブザーが「ピピッ」と 2 回鳴ります。
- ・OFF → ON: ブザーが「ピッ」と 1 回鳴ります。

6-10 印字テスト作業を行う

適切な印字結果を得られるまで印字テストを行ってください。

印字がきれいにできない場合は、「9-3 活字の傾き調整」(→ P.27)を参照して、きれいな印字ができるように活字の傾き調整を行ってください。

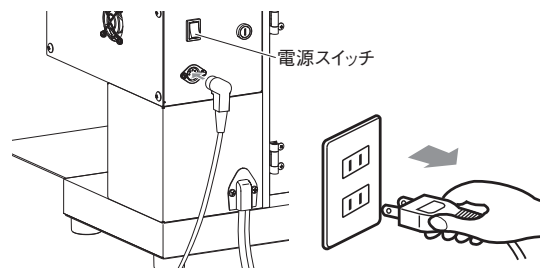
製造年月日 ~~03.12.12~~ 濃い
賞味期限 03.12.22
うすい

6-11 電源スイッチを OFF にする

作業が終わりましたら電源スイッチを OFF にしてください。

注意 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。不用意に触れないように注意してください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



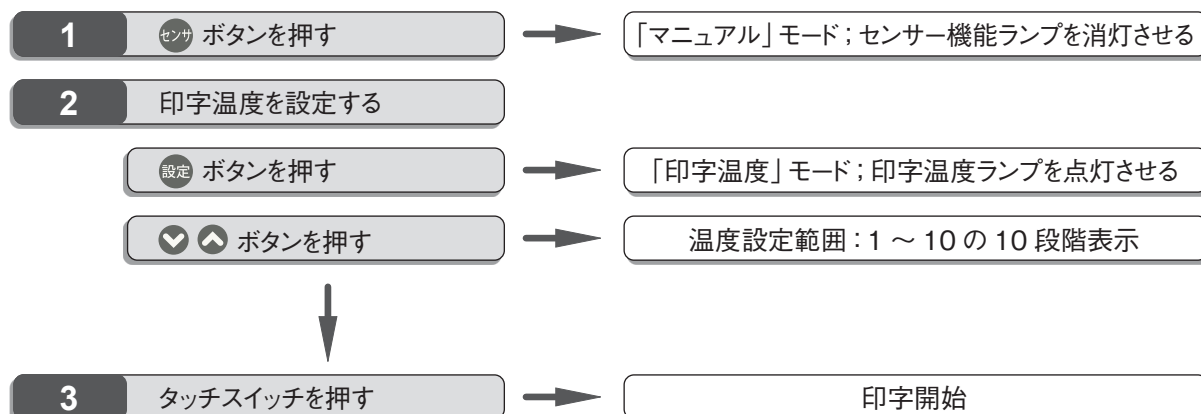
6-12 作業終了後の点検

作業終了後は、清掃を行い、活字などの部品が傷んでいないか点検を行い、必要に応じて交換をしてください。

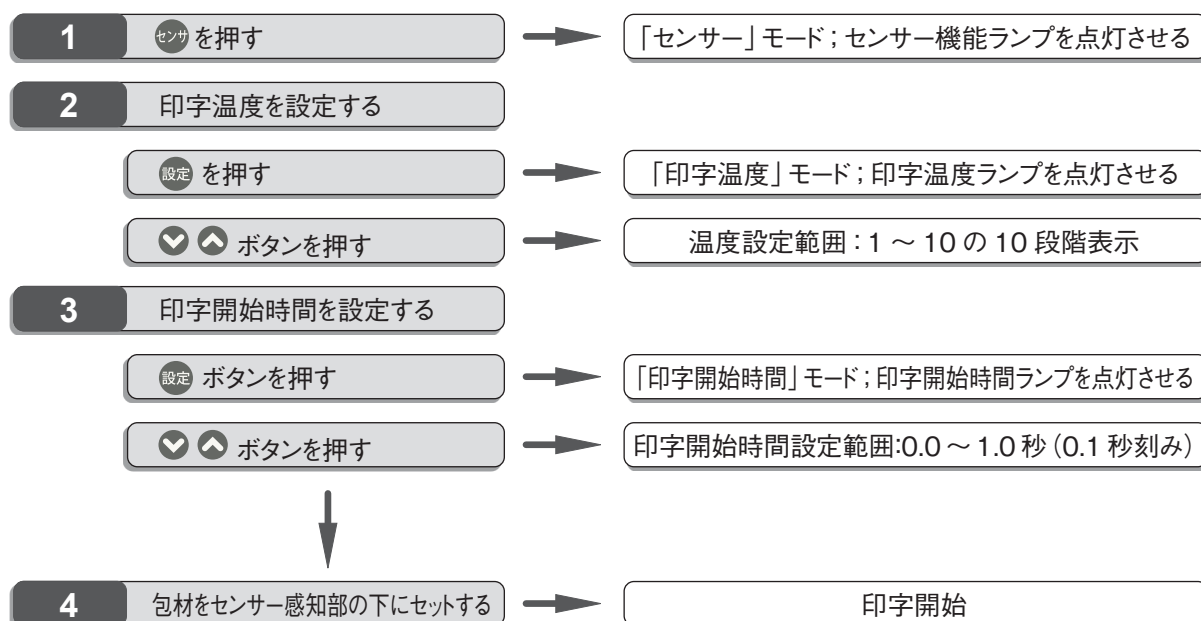
注意 電源スイッチを OFF にしてもしばらくはヒーター部は高温のため火傷をする危険性があります。清掃の際はプリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。

7 コントロールユニットの操作手順

7-1 「マニュアル」モードで使用する場合

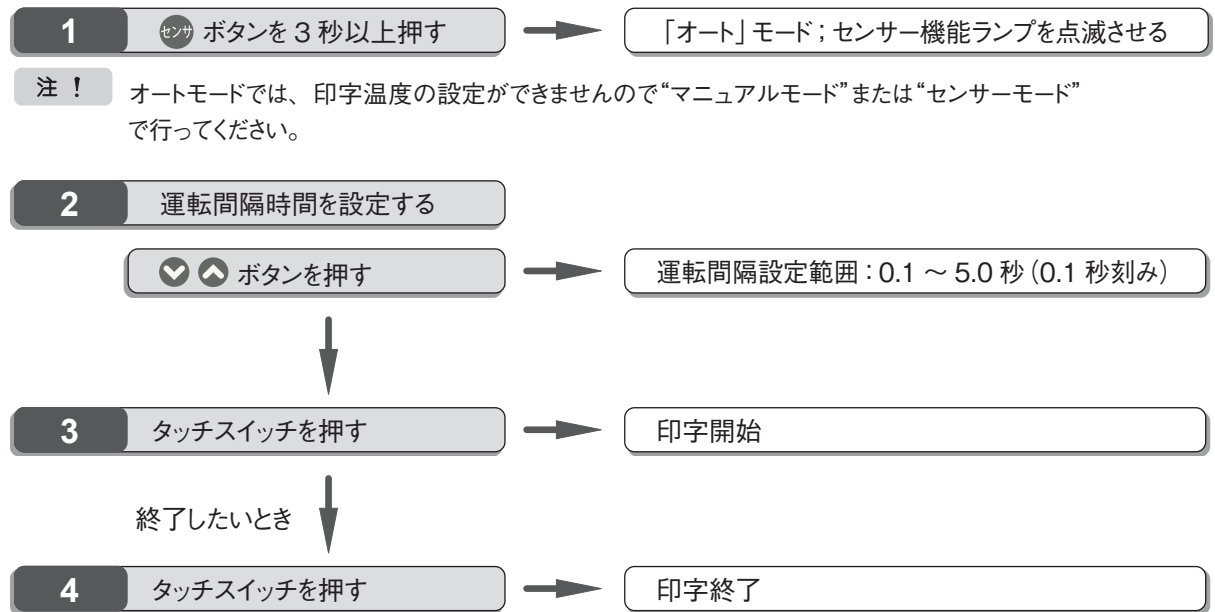


7-2 「センサー」モードで使用する場合



注！ センサーが包材を感知しない場合、「9-4 センサー感知位置調整」（→ P.28）を参照して、センサーが包材を感知できる適切な位置に調整してください。

7-3 「オート」モードで使用する場合



注！ 再び、オートモードで連続運転をさせたいときは、タッチスイッチを押してください。
 「センサ ボタン」を押すと設定前のモードに戻ります。